

平成 29(2017)年度 一橋大学大学院社会学研究科 地球社会研究専攻 修士課程学生募集(春期)要項

地球社会研究専攻は、地球規模の諸課題に取り組む研究者や高度専門職業人をめざす皆さんに開かれた大学院です。本専攻の基本方針は次の三点です。

1. Issue Focused: 個別の学問領域を出発点とせず、現実の問題に焦点をあて、フィールドから思考を立ち上げ、世界を解く。
2. Solution Oriented: 問題の分析に留まらず、新しい次元の観点、思考、思想を提示し、問題の解決を志向する。
3. De-Eurocentric: 従来の西洋中心的思考を乗り越え、複数の中心が呼応する地球社会の新しい発想をめざす。この基本方針のもとに、次の四点、1) Security (安全) 2) Sustainability (持続性) 3) Creativity (創造性) 4) Identity (アイデンティティ) を研究と教育の中心におき、地球社会と人々の生活の質の向上を追求します。

本専攻のカリキュラムは、文化、越境、平和、メディア、環境 の五つの重点領域を基盤に理論面から問題を追求する「基幹講義群」と、問題への実践的アプローチおよびメディア技術等を学ぶ「実践科目群」の二つがあります。さらに指導教員と少人数の受講生による演習(ゼミ)に加え、外国から招く第一線の客員教授陣、三菱総合研究所・日本国際問題研究所・国際交流基金・国際協力機構との連携協定を備えています。

地球社会研究専攻修士課程の入学試験は2回実施します。秋期試験(9月)では15名、春期試験(2月)では5名を定員とします。秋期試験では、研究計画書審査を含む総合的審査を、春期試験では、研究計画書審査及び卒業論文審査を含む総合的審査を行います。

(詳しくは、地球社会研究専攻ウェブサイト <http://isgi.soc.hit-u.ac.jp/> をお訪ねください。)

1. 募集人員 5名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項により、学士の学位を授与された者及び平成29年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了し、B.A. または B.S. を取得した者及び平成29年3月までに取得見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- (5) 日本において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 学校教育法第102条第2項(大学院への飛び入学)の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22才に達した者及び平成29年4月1日までに22才に達する者
- (11) 所定の手続きにより、本研究科において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

注1 出願資格の(9)または(11)による志願者は、必ず11月末日までに社会学研究科事務室あてに、出願資格についてあらかじめ問い合わせてください。

注2 出願資格(10)による志願者は、出願期間の前に個別の入学資格審査を行います。個別の入学資格審査書類等を本要項の配布開始日から11月末日までの期間に配布しますので、社会学研究科事務室まで問い合わせてください。個別の入学資格審査に必要な書類の提出期間は、11月21日(月)から11月25日(金)までです。入学資格審査結果は12月9日(金)頃に通知する予定です。

3. 出願期間

(1) ウェブ志願フォーム入力期間

平成29年1月10日(火)9:00～1月18日(水)17:00まで

(2) 出願書類提出期間

平成29年1月17日(火)～1月20日(金)17:00まで

4. 出願手続

出願手続には、「(1) 志願フォームへのウェブ入力」、「(2) 出願書類の郵送」の両方が必要です。

(1) 志願フォームへのウェブ入力

出願期間内に以下のウェブサイトへアクセスし、志願フォームに必要事項を入力してください。

http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/gs/exam_list/

注1 入力の際には、上記ウェブサイトに掲載されている「志願フォーム入力マニュアル」を参照してください。

注2 1月18日(水)17:00を過ぎると志願フォームへの入力ができなくなりますのでご注意ください。

注3 志願フォーム「研究題目」欄は、40字以内で入力してください。

(2) 出願書類の郵送

志願者は、「5. 出願書類・検定料」の出願書類を一括し、封筒の表面左下に「大学院出願書類在中」と朱書して、**郵送(書留郵便)**により、**〒186-8601 東京都国立市中2丁目1番地 一橋大学大学院社会学研究科事務室**宛てに提出してください。

出願書類提出期間は平成29年1月17日～1月20日です。なお、1月20日(金)は17時必着です。

注1 出願期間を過ぎて着いたものについては、1月18日(水)以前の消印のあるものに限り受け付けます。

注2 出願者本人もしくは代理人が出願書類を直接持参しても一切受け付けません。

注3 外国からの出願を希望する場合は、この「4. 出願手続」ではなく、別紙「外国からの出願方法について」に記載されている方法にしたがって出願してください。

5. 出願書類・検定料

書 類 等	提出者	摘 要
志願フォームへのウェブ入力によって作成した志願書	全 員	志願フォームへのウェブ入力が完了した際にダウンロードできる「記入済み志願フォーム」をプリントアウトし、自署したもの1通。
写 真 票	全 員	1通。所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。
志願フォーム補足資料	該当者	ウェブ志願フォームに以下の項目を記載した志願者は、その補足資料を郵送してください。 研究・社会活動歴 これまでの研究、仕事、社会活動、あるいは本専攻の内容に関わる活動や業績について、ウェブ志願フォームに記載した志願者は、それらをアピールするのに必要と思われる論文等の資料を郵送してもかまいません。その場合、抜き刷りは収録された本や雑誌名・刊行年・出版元など出所を明らかにし、複写したものは綴じて提出してください。なお、提出物は返却できません。 語学力 研究に必要な言語に関する検定のスコアや級について、ウェブ志願フォームに記載した志願者は、必ず証明するもの(複写も可)を郵送してください。 資格・免許等 アピールしたい各種の資格・免許について、ウェブ志願フォームに記載した志願者は、必ず証明するもの(複写も可)を郵送してください。
研究計画書	全 員	本専攻の修士課程で学ぶ2年間について、以下(1)～(6)の各項目について漏れなく記入したものを、日本語または英語で3通作成してください。 (1) 研究課題(できるだけ具体的に書いてください。) (2) その課題を選んだ理由と目的 (その課題を、どのような意味で「地球規模の課題」だと考えているのかについて言及してください。) (3) リサーチ・ツールとしての外国語能力について記述してください。 (4) 具体的な研究の内容と方法 (2年間の研究計画を順序立てて書いてください。フィールドワーク、ボランティア活動、留学の予定など、研究に伴う行動計画を持つ志願者は、この項目に記載してください。) (5) 期待しうる成果 (その研究を遂行することで、「地球規模の課題」にどのような貢献ができると考えているのかを書いてください。) (6) 修士課程修了後の進路に関する希望 (博士後期課程への進学、修士課程を修了した時点で希望する職種などについて具体的に書いてください。なお、修士課程修了後に就職を希望すると書いた志願者が、将来博士後期課程への進学を希望することになっても、不利な条件とはなりません。) ※ 研究計画書記載上の注意 任意のA4判用紙に日本語・英語ともワープロソフト等を使って書いてください。上記の(1)から(6)の項目を明示のうえ、日本語の計画書は1枚1,200字(目安)のA4判用紙5枚程度、英語の計画書はA4判用紙で2,400語程度とします。各研究計画書の最初のページ右上に必ず氏名を明記してください。

卒業論文等	全 員	卒業論文を複写したもの2通。ただし、卒業論文を提出せず、学士の学位に相当する学位を授与された者または授与される見込みの者については、卒業論文に代わる論文1篇の複写2通。なお、卒業論文等の内容と修士課程での研究題目が大きく異なる場合は、卒業論文に加えて、日本語または英語で作成した補充論文の提出を認めます（この場合も2通を提出してください）。
卒業論文等の要旨	全 員	上記に基づき提出する卒業論文等の要旨3通（日本語4,000字程度または英語1,600単語程度）。補充論文を提出する場合には、補充論文の要旨3通（日本語4,000字程度または英語1,600単語程度）も提出してください。A4判の用紙を用い、表紙をつけ、「論文要旨」、論文名および氏名を明記してください。
卒業（見込）証明書等	全 員	出身大学の長が作成したもの、または大学評価・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書もしくは短期大学長または高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書1通を提出してください。なお、本学卒業（見込）者は、成績証明書をもちて代えます。 「2. 出願資格」(3)(4)(6)による志願者は、取得した学位（B. A. または B. S. 等）を明記した証明書1通をあわせて提出してください。ただし、取得見込みの者は卒業見込証明書をもって代えます。
成績証明書	全 員	1通。出身大学の長が作成したもの。
在留カードの写し等	外国人志願者	1通。在留カード（または外国人登録証明書（在留期間、在留資格が明記されたもの））の写しを提出してください。ただし、在留カード（または外国人登録証明書）が交付されていない者については、パスポートの写しを提出してください。
受験票送付用封筒	全 員	1枚。長形3号封筒（23.5cm×12cm）に簡易書留相当分（392円）の郵便切手を貼付の上、受験票送付先の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
検定料30,000円	全 員	原則として 出願期間内 に 三井住友銀行 国立支店の 口座名：国立大学法人一橋大学社会学研究科 検定料口 口座番号：（普通預金）7761819 あてに検定料30,000円分を振り込み、 その明細書等の写しを出願書類と一緒に提出してください。 なお、日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですが、その旨を証明する所属大学発行の証明書を提出してください。

注1 複数の大学を卒業（見込）または大学院を修了（見込）の場合は、すべての大学、大学院における「卒業または修了（見込）証明書」「成績証明書」を提出してください。

注2 提出書類のうち、英語以外の外国語で書かれた証明書等がある場合には、その日本語訳を添付してください。

注3 外国の証明書で複写したものしか提出できない場合は、大使館等の公的機関で原本証明されたものを提出してください。なお、中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館は、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の公証・認証手続きは、中国国内の教育部学歴認証センター（北京市）又は各地方の公証処（各地方の司法局に認定された機関）において行われます。また、教育部学歴認証センターは、郵便による海外からの認証手続きの申請も受け付けています。中国国内の教育機関卒業（見込）・修了（見込）の方は、早めに手続きを開始するようにしてください。

注4 成績証明書や卒業証明書が旧姓で発行される場合、戸籍抄本を添付してください。

6. 選考方法および選考基準

第1次試験では、出願書類にもとづき、地球社会研究専攻の趣旨と受験者の研究テーマの整合性、研究計画の独自性、論理性および実現可能性、各自の研究テーマに必要な基礎知識等を審査します。第1次試験の合格者に対して第2次試験の口述試験を行います。第2次試験では、出願書類にもとづいて、研究に向けた準備状況、質疑応答における理解力、説明力、研究遂行に必要な語学力等を審査します。第1次試験と第2次試験の結果を総合し、最終合格者を決定します。

(1) 第1次試験（書類選考）

第1次試験合格者発表および第2次試験の試験室・時間割の発表

日 時	発 表 方 法
2月8日（水）13時	大学内掲示場（法人本部棟南側）への掲示およびウェブサイトへの掲載（URLは出願者に通知します）

(2) 第2次試験（口述試験）

試験場：一橋大学（JR中央線 国立駅下車、南へ徒歩約10分）

試 験 日 時	試 験 科 目
2月14日（火） 9時30分～18時頃	専攻する内容に関連する事項について日本語で質疑応答を行い、あわせて外国語の試験を行います。外国語の試験は、英文を配布し、受験者はそれを10分程度の黙読の上、質問に答えます。なお、口述試験の受験者一人あたりの時間は全体で45分前後を予定しています。

※ 第2次試験の際には必ず受験票を持参してください。

7. 合格者発表

日 時	発 表 方 法
2月16日(木) 13時	大学内掲示場への掲示およびウェブサイトへの掲載 (合格者には郵送にも通知します)

8. 入学手続

- (1) 入学料の納入期間
平成29年3月3日(金)～3月9日(木)
この期間内に納入がない場合は入学辞退者として取扱います。
- (2) 入学料の納入額 282,000円
(注) 本学には入学料の免除・徴収猶予の制度がありますので、希望する場合は、入学料を納入せずに、学生支援課にて申請書類の交付を受けて、所定の期間内に申請を行ってください。(入学料納入後の免除・徴収猶予の申請はできません。また、申請を行っても不許可となることもありますので、入学料納入の準備は事前に十分行っておいてください。)
- (3) その他
入学手続に必要なその他の提出書類とその提出期間については、合格者に改めて郵送にて通知します。
授業料(年額535,800円)については、入学後に納入することになります。納入時期・納入方法については改めて通知します。上記納入金額は予定額であり、在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用されます。

9. 注意事項

(問い合わせについて)

- (1) 入学試験に関する事務は、すべて社会学研究科事務室で行います。
- (2) 社会学研究科ウェブサイトの「受験生の皆さんへ」欄には、「Q&A」が用意されています。その他、出願手続等、入学試験に関する問い合わせは、住所、氏名を明記のうえ、書面または電子メールで行ってください。

(他の募集、併願について)

- (1) 総合社会科学専攻修士課程春期募集および特別選考による外国人の修士課程入学試験との併願は認めません。
- (2) 総合社会科学専攻修士課程春期募集および特別選考による外国人の修士課程入学試験については、別に募集要項を配布します。

(専攻について)

出願後の志望専攻の変更は認めません。また地球社会研究専攻に所属する教員以外の教員を指導教員(第一演習担当教員)として選ぶことはできません(地球社会研究専攻要覧参照)。

(提出書類について)

- (1) 志願者が記入する出願書類は、すべて印字または黒のボールペンで記入してください。
- (2) 出願書類および検定料は返却しません。また、「5. 出願書類・検定料」において明記されている場合を除き、各種証明書は必ず原本を提出してください。複写したものは受け付けません。

(身体に障害を有する入学志願者の事前相談について)

身体機能に障害があり、受験時や入学後の学習に特別の措置を必要とする志願者は、その旨を出願期間前に社会学研究科事務室に申し出てください。申し出にしたいが、所要の措置を講じます。なお、この申し出によって不利益を被ることはありません。

(プライバシー・ポリシー)

入学試験合格者の成績は、入学後の教育・学業支援等の目的に使用することがあります。

(国際学生館景明館及び国際学生宿舎(学生寮)について)

本学国際学生館景明館及び国際学生宿舎(学生寮)への入居希望者は、平成28年12月中に本学ホームページに「入居者募集要項」を公表しますので、要項に従い申請してください。

<http://hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>

社会学研究科 ウェブサイト <http://www.soc.hit-u.ac.jp/>
社会学研究科 電子メールアドレス info@soc.hit-u.ac.jp

※ アドミッション・ポリシーについては以下のページをご覧ください。
<http://www.soc.hit-u.ac.jp/admission/>

平成 29(2017)年度
一橋大学大学院社会学研究科
修士課程地球社会研究専攻要覧

1. (社会学研究科規則第3条)
「修士課程の修了の要件は、2年以上在学し、30単位以上（第一演習8単位以上を含む。）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本研究科が行う学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。」
2. 本学大学院社会学研究科地球社会研究専攻には、下記に掲げる科目があります。

【基幹講義群】

科目群名	授業科目名	担当教員名
文 化	地球社会文化論	* 足 羽 與志子
	文化の受容と編成	* 赤 嶺 淳
	価値生成論	非 常 勤 講 師
	文明と周辺社会	春 日 直 樹
	多文化社会の人間形成	* 太 田 美 幸
越 境	移動研究	* 福 富 満 久
	グローバル化と移動社会	* 多 田 治
	世界都市論	町 村 敬 志
	エスニシティ論	伊 藤 る り
	地球社会と地域政策	猪 飼 周 平
	グローバル化と教育	* 太 田 美 幸
平 和	平和の思想	* 足 羽 與志子
	戦争と社会	吉 田 裕
	トラウマと地球社会	* 宮 地 尚 子
	平和とジェンダー	佐 藤 文 香
	地球市民とジェンダー	非 常 勤 講 師
メ デ ィ ア	グローバル・メディア論	* 多 田 治
	文化表象論	非 常 勤 講 師
	オンライン・メディア論	* ジョナサン・ルイス
	メディアの研究方法	* ジョナサン・ルイス
環 境	地球社会と生命	* 宮 地 尚 子
	地球環境と地域社会	* 赤 嶺 淳
	発展途上国の諸問題	* 児玉谷 史 朗
	開発援助の諸問題	* 児玉谷 史 朗
	環境研究の自然科学的基礎	* 大 瀧 友里奈
	宇宙・地球・人間	* 大 坪 俊 通
地 球 社 会 研 究	地球社会研究Ⅰ	専 任 教 員
	地球社会研究Ⅱ	* 福 富 満 久
	地球社会の思想	加 藤 泰 史
	地球社会特論Ⅰ	客 員 教 員
	地球社会特論Ⅱ	客 員 教 員
	地球社会博士特論	専 任 教 員

【実践科目群】

科目群名	授業科目名	担当教員名
連携大学院実践科目	環境をめぐる問題と実践	客 員 教 員
	文化交流の技法と実践	客 員 教 員
	国際協力の実務と方法	客 員 教 員
	デジタルメディアの実践Ⅰ	客 員 教 員
	デジタルメディアの実践Ⅱ	客 員 教 員
	デジタルメディアの実践Ⅲ	客 員 教 員
	インターンシップⅠ	専 任 教 員
	インターンシップⅡ	専 任 教 員
リサーチ実践	リサーチ演習Ⅰ	専 任 教 員
	リサーチ演習Ⅱ	専 任 教 員
プロジェクト実践	プロジェクト演習Ⅰ	客 員 教 員
	プロジェクト演習Ⅱ	客 員 教 員
	プロジェクト演習Ⅲ	専 任 教 員

担当教員名欄の*印は第一演習担当教員